

第3回 前橋市地域公共交通再生協議会での主な意見と今後の対応

項目	主な意見	今後の対応
1 都心幹線バスの再編	① 前橋駅と県庁前との間のダイヤを調整しても、郊外等では上手く調整できないのではないか。	都心幹線バスの再編については、既に検討を進めているほか、平成30年度に詳細な調査を実施する予定であるが、その際には、都心部のみならず、郊外等の利便も考慮しながら進める。また、運行距離の総量についても検討を進めていく。
	② 現行の運行距離がどの程度で、その運行距離からどう変化するかは、計算しているか。	
	③ (前橋駅での乗り場を1番に統一する案に対して) 1番以外のバス乗り場から、県庁前経由のバスが発車しているのは、運行方面などを考慮した結果である。そこを踏まえなければ、乗り場と行き先の関係が分かりにくくなる恐れがあるのではないか。	前橋駅での乗り場の統一については一つの案であり、今後、都心幹線バスを再編していく中で、利用者の利便等を考慮しながら発着乗り場を決定していく。 また、併せて、乗り場の位置、行き先等の分かりやすい情報案内を構築する。 【資料4-2 P109参照】
2 地域公共交通網形成計画(案)	① 路線図のような、目で見えて分かる資料を提示していただきたい。	「公共交通不便地域の解消(地域内交通の導入)」や「都心幹線の形成」等については、路線の概略等を記載したイメージ図を掲載する。 【資料4-2 P103、114参照】
	② 本編を見ても前橋駅から県庁間がどのように再編されるのか分からない。より具体的な記載を行った方がよいのではないかと。特に都心幹線の部分はより具体性のある内容とした方がよいし、地域内交通については、具体の地域を示した方がよい。	
	③ バス路線の再編について、特定地域で実証実験を行ってみるとよいのではないかと。	バス交通網の再編にあたっては、問題点等を検証するために、最も効果的な地域において、実証実験等を実施する予定である。
	④ LRTの検討にも言及した方がよいのではないかと。	「鉄軌道間のネットワーク化」の中で、上電沿線市連絡協議会において実施された「上毛線LRT化可能性調査」により抽出された課題について引き続き解決方法の検討を行うとともに、JR前橋駅と上毛線中央前橋駅の結節強化策のみならず、まちなかを有機的に結ぶ幹線公共交通軸として、まちづくりに寄与できるよう新たな交通システム(LRT等)の導入の検討について言及する。 【資料4-2 P102参照】
	⑤ 各施策の予算規模や施策の進め方はどのように考えているのか。	計画に位置づけた施策については、今後、地域公共交通再編実施計画策定に向けて具体化していくが、持続可能な交通ネットワークの形成の観点から交通予算が大幅に増加しないように配慮する。また、施策の進め方については、資料5-1、5-2のとおり考えている。
3 その他	① バス路線を把握していない市民が多いため、以前のようにバス路線図の全戸配布を実施し、いつでも確認できるようにすればよいのではないかと。	地区別バスマップの毎戸配布等について、計画に位置づける。 また、バスマップの配布先として、従前の公共施設やバス案内所等のほか、平成30年度からは、本市の転入手続き時に配布し、路線バスなど公共交通を利用した新生活を促すこととする。 【資料4-2 P119参照】